

編集後記：20世紀最終号の編集後記を執筆してから丸2年が経過した。最近になってあつという間に順番が回ってくるように感じられるのは、ただ単に歳を重ねただけということか。

日々激変する社会状況であるが「天気」編集を巡ってもこの1年間さまざまな出来事があった。

今年から「気象集誌」とともに電子ジャーナル版の公開が始まった。データベース化の容易さなど電子化のメリットは図りしれず時代の流れでもあるが、紙の出版物がすぐ消えてしまう気配はない。電子版は現在は無料公開であるが、将来は学会そのもののあり方にも変化を及すものとなるかもしれない。電子化により編集の負担が減るということは全然ないようである。

気象を巡る出版状況ということでは、気象庁監修・日本気象協会発行の「気象」の廃刊があった。雑誌の刊行も経済活動の一部として行われる以上、経営判断は止むを得ない。気象に関する国内唯一の一般誌が、同一分野での他誌との競争に破れたということでもなく消えてしまったという事実は重く受け止めたい。「天気」では「気象」廃刊に対応して、気象庁等関係者の協力を得て「日々の天気図」「日本の天候」の連載を開始した。また「気象」に掲載されていた気象業務の紹介記事や気象に関する解説記事も関係各位の協力を得

て随時掲載していくよう検討を進めている。今年は「気象研究ノート」の一般書店での販売も開始され、「天気」の一般販売も将来の検討課題とすべき時が来るかもしれない。アメリカ気象学会は2003年から一般向け気象雑誌“Weatherwise”を、刊行する Heldref 社との合意に基づき、会員に割引価格で提供すると発表した。アメリカ気象学会には“Bulletin”という「天気」に相当する機関誌があるが、専門家ではない人々へ如何に質の高い情報を学会として提供するか模索したうえでの結論だったようである。「気象」廃刊とはまさに対照的な事象として興味深い。

個人的に忘れられないのは5月号の編集後記を残して旅立たれた関口理郎前理事のことである。編集委員会の議論では大局から細部に至るまでバランスの取れた配慮をされ、またご自身も多くの投稿原稿を担当されて、どの原稿に対しても真摯に扱い、なんとか採用できるよう尽力されていたさまにはいつも頭が下がる思いであった。慎んでご冥福をお祈りするとともに、少しでもよい編集作業をすることが先生への遅すぎる恩返しになればと考えている。

それでは2003年が皆様にとってよい年でありますように。
(山本 哲)

「天気」編集委員会

編集委員長 新野 宏(理事)

編集委員 神沢 博(理事)・古川武彦(理事)

藤部文昭(理事)

石田純一・大淵 濟・小山 亮

勝山健一・勝山 税・金田昌樹

川島正行・木村陽一・小出 寛

桜井敏之・佐藤晋介・小司禎教

住 明正・関山 剛・高野清治

高橋 宙・滝下洋一・田口晶彦

寺坂義幸・中西幹郎・中村 尚

新村典子・板東恭子・別所康太郎

水野 量・山本 哲

地区編集委員 北海道 西 道夫・渡部雅浩

東北 小柴 厚・岡本 創

関東 城尾泰彦・横井貴子

中部 永尾一平・渡辺真二

関西 和田高秀・山中大学

九州 渡辺典昭・中島健介

沖縄 我謝良弘

編集書記 遠藤 和子

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい個人または団体(図書館も含む)は、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている下記の団体から許諾を受けて下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル
学術著作権協会

Tel : 03-3475-5618, Fax : 03-3475-5619

E-mail : naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

Notice about photocopying

In order to photocopy any article from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052, Japan

Tel : 81-3-3475-5618, Fax : 81-3-3475-5619

E-mail : naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp